

審議の概要

会議名	令和4年度第2回三郷市図書館及び視聴覚ライブラリー協議会
事	開会 司会・進行 染谷北部図書館長 1. 会長あいさつ 2. 教育長あいさつ 大塚教育長
福田会長	3. 議事（議事進行：福田会長）
事務局	《議題1》令和4年度事業報告について ・各館事業、3館合同事業の説明、図書館の施設別利用状況、電子図書館統計について （令和4年度図書館事業報告・利用統計 資料1、資料2、資料3参照） ・企画推進係の読書推進の取り組みについて （令和4年度企画推進係事業報告 資料1参照）
福田会長	（子ども司書について）この事業が継続され、定着し、子どもたちの活動の場ができあがっていて心強いことだと思う。 （ふれあい文庫について）東横インやイトーヨーカドーのふれあい文庫で、どういう本が喜んで手に取られたか。
事務局	ふれあい文庫は現在市内21か所に増え、それぞれの分担のふれあいブックサポーターに本を選んでもらっている。高齢者施設では小説などの読み物が人気がある。スターバックスコーヒーでは、ビジネス書やすぐ読める実用書が人気がある、絵本はどこに置いても人気が高いと聞く。東横インについては、ビジネス書や親子で泊まるかたのために本を置かせてもらっているが、市制施行50周年記念誌や読書活動を説明するパンフレットを併せて置き、三郷市に来た人に、三郷の事や読書活動のことを知ってもらおうよう工夫している。
福田会長	ホテルに子ども向けのものがあるのもいいと思う。いつでもどこに行っても本があるという状況が増えてきた方がいい。スマホやタブレットでアニメを観ることなどに流されがちな親子も、本をすぐに手に取れるようにしておけば、読書の機会が増えると思う。
中川副会長	同じくふれあい文庫とふれあいブックサポーターのことだが、ふれあい文庫の内容が変わり映えしないとのこと。置いてある本が飽きられるほど利用があるのであれば、本の入れ替えなどを工夫していかななくてはいけない。それくらいリピーターがいるというのは、ふれあいブックサポーターも活動のしがいがあると思うが、ふれあいブックサポーターの育成とフォローも含めて、行政のバックアップが非常に大切になってくると思う。具体的に例に上がったことの他に、ふれあいブックサポーターが活躍しやすいようにする工夫や、やりがいがさらに持てるようなバックアップとして、どういうことがなされているか教えていただきたい。
事務局	育成については、年3回の養成講座を実施している。この講座は新しく参加されたかただけでなく、希望があれば活動中のかたも参加できる。今年はブックコートかけ講座を実施したところ、ブックコートかけが楽しくなってきたとの声を聞いたので、別途、ブックコ

		<p>ートかけの作業をしていただく日を設けたところ好評だった。フローヤ、やりがいについては、ふれあいブックサポーターはふれあい文庫の他にも様々な活動しているかたが多いので、その特技を活かしたことを取り入れてもらうなどしている。例えば、工作の得意なかたに、におどりプラザで毎月塗り絵を作ってもらっている。また、スクラップブックづくりが得意なので、担当のふれあい文庫に飾って看板にしているかたもいる。</p>
山上委員		<p>早稲田図書館を利用しているが、今年度後半から休館になったので、小学校や児童センターでの読み聞かせの際に使う本を他の図書館に借りに行けないときは、ふれあい文庫の本を借りて利用できたのでとても助かった。文化会館に週1～2回、予約本を受け取りに行くついでに文化会館のふれあい文庫を利用した。絵本や子ども向けの本がもっとたくさんあってもいいと思った。サポーターの都合もあるので、本の入れ替えが頻繁にできないとは思いますが、入れ替えがあまりないように見受けられたし、もっと蔵書が増えてもいいと思った。感謝はしているが希望もあるということで、申し上げる。早稲田図書館が4月に開館するので状況は変わると思うが、今年はふれあい文庫にお世話になった。</p>
事務局		<p>文化会館のふれあい文庫が非常に利用されていると聞いている。文化会館担当のサポーターのかたが熱心で、自分が担当している別のふれあい文庫から、文化会館に本を移したり、定期的に毎回60冊くらい入れ替えしているが、利用者が多いので、私達もサポートしていきたいと思う。</p>
中川副会長		<p>早稲田図書館リニューアルの話が出て、非常に楽しみだが、車いす利用等も含めて、リニューアルで配慮していることやポイントにしていることがあれば教えてほしい。</p>
事務局		<p>早稲田図書館のリニューアルについて、障がい者への配慮は、トイレをオストメイト対応にしたり、開館当初から使っているエレベータを更新して安全性を高めたほか、書架と書架の間を1.2メートル以上保って配置するなどしている。早稲田地区だけではなく、住民層が高齢化しているため、高齢者のかたが使いやすい図書館になるよう、例えば表示の字を遠くからでもわかりやすく見えやすくするとか、本を探しやすいようにするとか、リニューアル後の工夫をしていこうと思っている。</p>
福田会長		<p>アメリカの博物館の展示では、地域の動物が、実際に生活しているような形で、はく製が置いてある。本についても発想を変えて、テーマでいろんな本を並べ、地域の子どもたちが調べ学習をするときに役立つようにするとよい。学校の先生にも助けてもらって、各家庭に眠っている本も寄付してもらい、これだけサポーターさんもいらっしゃるから、その人たちにも自分が読みたいと思うものをどんどん言っただきながら、本のある場所を作っていけば、相当の蓄積が三郷にできると思う。</p>

事務局	《議題2》令和5年度事業計画（案）について （資料4参照）
田口委員	図書館のコンピュータシステム更新のところで、現在の図書館の検索システムも今よりもバージョンアップしたような形になるのか。
事務局	システムを構築するメーカーを変えるかもしれないが、基本的に本を検索する考え方には各社でさほど差異がない。世の中の変化に応じてどう利便性を上げていくかは今後検討していく。ご要望があればお伺いする。
田口委員	今のシステムの検索機能については満足している。スマートフォンで検索することが多いが、スマートフォン用の入力画面がとても小さい。スマートフォン向けになっているのか。
事務局	スマートフォンでも、スマホ版とPC版が見られる。スマホ版に切り替えるとシンプルな画面で入力のしやすいものになる。PC版の方が細かい入力ができる枠が開くので複雑で小さいという印象になるかもしれない。
田口委員	検索するときPC版が先に出てくることが多くて、そこで探してしまっていたと思う。今後スマホ版の方も探してみたいと思う。
福田会長	スマートフォン版とPC版を最初に選べる画面が出てくれば一番良い。小さいところで検索するのは大変。 電子書籍はどんどん増えていく状況か。
事務局	コンテンツは、さほどは増えない。新しいサービスとして今年度から電子雑誌の公開が始まった。図書館で購入できるように著作権がクリアされ、無料での貸出が可能な電子書籍コンテンツの種類はあまり多くないので、その中から選んで買っていく仕組みに変わらない。コロナ禍ではコロナ対策補助金があり、コンテンツ購入予算が潤沢だったが、今後はさほど増えないのではないかと思っている。現場としては、図書館でやるべき公共インフラの部分の資料提供にも、データベースの導入などによって、デジタル面において力を注ぎたいため、楽しみのための読書である電子書籍とともに、仕事や学びに役立つ商用データベースにも力を入れたいと考えている。
福田会長	どの図書館でも、同じものを購入するのではうまくいかない。他の図書館も同じような悩みを持っていると思うので、県立図書館等と相談しながらお金を上手に使うよう工夫してほしい。

事務局	《議題3》第2次日本一の読書のまち三郷推進計画について (資料5参照)
中川副会長	ふれあいブックワゴンの2号車の導入が予定されているということで、非常に楽しみだ。ほかの事業もそうだが、受けの活動ではなく、出向いていくとか市民が近づきやすいような体勢を計画の中に入れているので、それが読書密度を増やしていくことになるのだろうと思う。活動を広げていくためには、県や議会のバックアップがあって予算がより多く配分されていくことが大切だと思うが、令和5年度の状況を聞きたい。
事務局	令和5年度予算については3月の議会に諮り、承認いただき、決定するが、十分理解いただけるように説明していきたい。県については、意見交換をしながらお互い協力し合えるような形でできたらよいと考えている。
福田会長	かがくあそびが非常に増えている。これは回数を増やしたということか。
事務局	回数を増やしてはいないが、定員何名という形ではなくて、図書館に遊びに来た子が自由に少しずつ参加できるような形式を市立図書館で取り入れたので、数が増えている。
福田会長	いろいろな形で活動も増えていて、コロナのせいで減った部分もあると思うが、新しいものをいろいろ考えていただけたようなので、いいと思う。 教育テレビ等を見ると、科学番組にしても、歴史番組にしても、教科書に載っていないような、今までになかった分野が取り上げられている。そういった多様な最先端の知識を扱った資料を揃えていくことは、子どもたちにとってもよいことと思う。
山上委員	ふれあい文庫のことで、増設に向けた調整を行っているとのことだが、病院への設置は考えているのかを聞きたい。子どもを個人のクリニックに連れて行ったとき、コロナ前には本が置いてあって待ち時間にはそれを利用してしたが、コロナ後は感染防止対策や管理の問題と思うが、本が撤去されて何も見るものがない。長い待ち時間があつたので、そのときにふれあい文庫があれば充実した時間を過ごせると思った。
事務局	現在病院としては、埼玉みさと総合リハビリテーション病院の一か所だけである。ただコロナの関係で中に入ることができず、入り口で本を手渡して以来、現場を見たことがない状態になっている。病院だと、ふれあいブックサポーターが頻繁に入るのが難しい。多くの人に見てもらえるというところでは魅力だと思っている。不平等にならないよう、こちらから声を掛けるのではなく、広報などで「ふれあい文庫の設置希望のかたがいらっしゃったらお声がけください」と呼びかける形をとらせていただいている。かかりつけのクリニック等から、ふれあい文庫に興味があるというお話をいただければ調整するので、何か情報があつたらお願いしたい。

事務局	《議題4》その他 早稲田図書館リニューアルオープンについて (当日配布資料参照)
福田会長	新しい早稲田図書館の本には全部 IC チップがつくのか。
事務局	IC 機器は以前に導入済みであるため、すでに全ての本に IC チップはついている。
福田会長	本を館内で誰が持ち歩いているかまでわかるのか。
事務局	そのような仕組みではなく、貸出処理をすると出口のゲートを通れ、貸出処理をしないとブザーが鳴る仕組みである。
福田会長	自動貸出機で手続きした本がきちんと処理できたかを見る仕組みはいいことだと思う。
事務局	カウンターの職員と接しないのは寂しいようだが、非接触で感染防止できるため、図書館 3 館はこのような貸出方法にさせていただいている。
福田会長	蔵書点検もいっぺんにできるのか。
事務局	その通りである。1冊1冊 IC 専用の機器をゆっくり本にかざしながら読み取る蔵書点検になっている。
福田会長	IC 化はレファレンスの仕事に時間がさけていいことかもしれない。
古賀委員	早稲田図書館の再オープンのチラシは告示前に学校に貼ってよいのか。今までコロナ関係で校外活動も制限されていたが、これから校外にも出かけられると思うため、早稲田図書館がリニューアルオープンするというので行ってみたい。初めての場所や慣れないところだと心落ち着かない児童生徒もいるが、よろしくお願ひしたい。
事務局	チラシについては2/20に掲示する。HPも2/20以降にアップするので、2/20以降だったら学校に貼って差し支えない。
中川副会長	閉会（閉会の辞：中川副会長）